



ふるさとウォーク
あいだ こしまだに つばたに
在田・甌谷・坪谷町
清水南地区

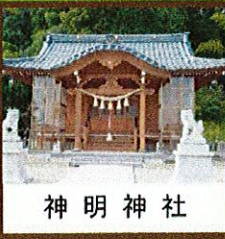


七郷用水

在田古墳跡



砂防堤



神明神社



殿池三尊石仏

万福寺



白山神社

法栄寺

坪谷町

坪谷町公民館

休憩所

ふくい健康の森

在田町

甌谷町

甌谷町公民館
本部

スタート
ゴール

←Aコース
→Bコース



ドローン実演



荒井彦兵衛華道成功の碑



七郷用水(分木)



寺小屋教師顕彰石碑

至、鯖江

真栗町

至、福井市内

清水南地区略年表

時期	年代	事 象
近現代	2009～2025	ふるさとウオーク
	2006	清水町、福井市と合併 清水南公民館開館
	1955	三村合併し、清水町と称す
	1951	北丹中学校発足（現、清水中学校）
	1948	福井震災
	1945	太平洋戦争終わる
	1918	清水山橋、架橋
	1910	天津尋常小学校開校（現、清水南小学校）
	1889	市町村制施行 志津村、天津村、三方村誕生
	1881	福井県の誕生
近世	1867	徳川15代将軍慶喜、政権を朝廷に返上
	1764	嶋寺・片山分郷
	1729	甕谷絵図面作る
	1718	七郷用水分水伏替争
	1686	福井松平氏その領地を半分に削られる
	1607	秀康死去、松平忠直が跡を継ぐ
	1600	関が原の戦い、東軍が勝つ。家康天下を握る
	1598	大関検地（本折、清水山、甕谷検地帳）
	1570	姉川の戦い、浅井・朝倉氏滅亡の端緒
		この頃、秀吉全国的に検地を行う
中世	1480	清水山合戦（朝倉勢に敗れた城主 太田美作の守自刃）
	1471	朝倉氏、戦国大名として歩き始める
	1469	片山西光寺創建
	1181	小羽今井城築城
古代	996	藤原為時（柴式部の父）、越前守に任じられる
	758	泰澄白山から下山、大谷仙嶺に蟄居「伝記」
	752	東大寺大仏開眼
	749	東大寺、越前国に荘園としての墾田地を求める
	710	平城京へ遷都
	701	大宝律令完成
	645	中大兄皇子ら、曾我氏を滅ぼす（大化の改新）
古墳時代	7世紀	前方後円墳の築造停止
	6世紀	この頃、横穴式石室が広く普及する
	5世紀	墳丘規模が巨大化する
	3世紀中	前方後円墳の築造はじまる 杉谷・清水山古墳・清水古墳
弥生時代	147～189	倭国大乱
	前1世紀	鉄器が本格的に普及
	前3～前1世紀	小羽西ノ谷弥生土器
	前4世紀	本格的な水稲耕作はじまる
縄文時代	前1300年	集落小規模化、呪術や芸術が発達
	前2500年	環状列石、祭祀具発達
	前3500年	集落規模・人口も増大、土器も発達
	前5600年	大規模集落形成、定住確立
	前1万年	貝塚の形成、温暖化・海面の上昇
	前1万3000年	土器・石鏃を使用しはじめる
後期 旧石器時代		細石刃が日本全国に盛行
		陥穴群による狩猟（3万5000年前）
中期 旧石器時代		日本列島に人類の痕跡（4万年前）
		野尻湖底遺跡（4万5000年前）

2025年11月3日

在田・甕谷・坪谷町ってこんなところ

在田町

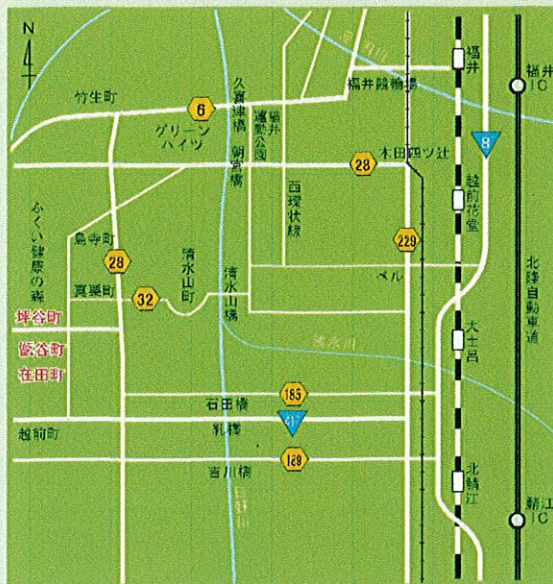
日野川と天王川の合流点で昔から水に恵まれた田地在って「在田」と名付けられたと言われています。藩政時代からの「七郷用水」は集落の中を今も清らかに流れ、福井市の「里川」にも指定され田舎の風情が残る集落です。集落の西側に標高290mの「芝嶺山」（現在は乙坂山）があり、その裾野には弥生時代の古代人が住んでいた古墳や土埋墓の残る歴史があります。

甕谷町

「甕谷」という村の名が生まれたのは、昔から「こしき」という穀物を蒸すつぼ型の土器が作られていたためと言われています。また甕谷町は、集落の西側の山すそに住宅が集まり、田んぼをはさんで、東側の日野川沿いには平成3年に完成した「グリーンピア清水工業団地」を有しています。

坪谷町

トンネルを通ると緑豊かな野山に囲まれ、谷川に沿って家屋が連なっています。山菜や谷清水に育まれたおいしい棚田米、野菜を産します。このような豊かな自然と古くからの文化を守りながら四季を通じて彩のある里山、生き活きた坪谷に取り組みでいます。



清水南地区自治会連合会作成

ふるさとウオーク

—清水南地区—

自然と歴史のまち

- 在田町
- 甕谷町
- 坪谷町



福井市在田町・甕谷町・坪谷町